

令和3年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和4年3月25日  
函館市立神山小学校

1 本年度の重点教育目標

・進んで考え、たくましくやりぬく子～最後までやりぬく活動を通して、自主性と心身のたくましさを育む～

2 本年度の取組の重点

- 【施策1】 ①学力向上……「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
- 【施策2】 ③豊かな心……校内研修を核とした道徳科授業の充実
- 【施策3】 ④健やかな体…食育の充実や体力向上を図る取組の工夫
- 【施策4】 ⑤業務改善……教職員における業務改善の一層の推進
- 【施策5】 ⑥地域連携 ……CS、小中一貫した教育の実現に向けた協議の推進

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善方策の評価	主な意見（改善策など）
施策1	①基礎・基本の定着を図る学習指導や授業改善を進めることができたか。	a	・全国学力テストの結果から、神山小の課題を分析し、課題部分を重点として授業で取り組んだ。家庭学習手引きを配り、学年に応じた家庭学習を進め、基礎基本の定着に努めた。	B	B	・学力、基礎基本の定着は、学校の使命ですので、「主体的対話的」な授業とどう結びつき、園補強を家庭に求めるといった流れを明確に示してほしい。
施策2	②心に響く道徳科の授業実践を通して、いじめ未然防止や子供に寄り添う教育実践を行うことができたか。	b	・学級における道徳授業は進められたが、学校全体の人権意識向上に取り組む必要がある。 ・「いじめは絶対に許されない」という基本認識のもと、引き続きいじめの未然防止に取り組む。	A	B	・学校全体の「人権意識」の向上を「子どもの権利条約」を基盤に構築するとよいと思う。特に「意見表明」「参画意識の向上」を具現化してほしい。
施策3	③食育や運動量増加に向け、体育や休み時間の活用等、教育活動を工夫し、進めることができたか。	b	・栄養教諭による食育授業を行うことができた。 ・コロナ禍により、活動が制限され、休み時間の取組ができなかったため、来年度は実施したい。	A	B	・栄養教諭の前向きな姿勢に敬意を表します。 ・運動量確保や食育で家庭とどのようにつながれるかが求められます。
施策4	④学校における業務改善に向けた取組を進めることができたか。	a	・業務分担の偏りを見直すことにより、業務負担の平準化を図った。	A	A	・引き続き業務改善に努めてほしい。
施策5	⑤CSへの理解を深めるとともに、地域や小中の連携をさらに進めることができたか。	b	・CS3年目となり、小中の教員交流の機会が増え、授業参観や出前授業で連携の取組を進めることができた。	B	B	・コロナが収まってくれば今後はより深く交流ができると思うので継続して進めていただきたい。

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた (8割以上)
b	概ね達成できた (6割以上)
c	十分ではない (4割以上)
d	達成できなかった (4割未満)

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。